



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本フェルト株式会社  
 コード番号 3512 URL <https://www.felt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 誠一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 矢崎 莊太郎 TEL 03-5993-2030  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,927	△0.5	306	135.3	415	77.4	225	39.5
2021年3月期第2四半期	4,954	△8.8	130	△36.9	233	△18.3	161	△27.0

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 306百万円（△3.3%） 2021年3月期第2四半期 316百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	11.86	—
2021年3月期第2四半期	8.49	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	22,637	17,351	75.1	898.12
2021年3月期	22,649	17,287	74.9	889.88

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 17,003百万円 2021年3月期 16,955百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
2022年3月期	—	6.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	7.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	0.9	430	85.2	570	19.3	410	24.4	21.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	19,842,089株	2021年3月期	19,842,089株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	909,551株	2021年3月期	788,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	19,013,715株	2021年3月期2Q	19,031,830株

※ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前年同期比較は基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。また、ワクチン接種の進展等により社会活動が正常化し、景気が持ち直していくことが期待されますが、感染再拡大のリスクも懸念され、予断を許さない状況にあります。

当社グループの主要な取引先であります紙・パルプ業界は、電子媒体へのシフトや人口減など構造的な変化に加え、感染拡大による経済活動の制限などにより、需要が低迷しておりますが、一部で需給の回復傾向も見られます。

このような状況におきまして、当社グループは事業活動が制限される中、きめ細やかな営業活動・技術サービスに努めた結果、売上高は4,927百万円（前年同期比0.5%減）となりました。これは、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、一部の仕入商品について売上計上方法の変更があったため、売上高が232百万円減少した影響を含んでおります。営業利益につきましては、コストダウンを進めたことなどにより306百万円（前年同期比135.3%増）、経常利益は415百万円（前年同期比77.4%増）となりました。また、特別損失には投資有価証券評価損106百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円（前年同期比39.5%増）となりました。

なお、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、前年同期比較は基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ①フェルト事業

紙・パルプ用フェルトの売上高につきましては、国内は新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響を受けたものの、紙・板紙の需給に一部回復の動きが見られたことで販売が増加し、3,163百万円（前年同期比11.1%増）となりました。一方、国外は新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部の取引先で生産調整が行われたことなどにより販売が減少し、773百万円（前年同期比11.2%減）となりました。工業用その他の売上高は、695百万円（前年同期比27.5%減）となりました。当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、工業用その他を含む一部の仕入商品について売上計上方法の変更があったため、売上高が232百万円減少した影響を含んでおります。

#### ②不動産賃貸事業

本社ビルの当社使用フロアを縮小し、賃貸用テナントフロアを増床したことにより、テナント収入が増加し、売上高は294百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ11百万円減少しております。

これは、リース投資資産が25百万円、原材料及び貯蔵品が75百万円、有形固定資産が57百万円、無形固定資産が25百万円、投資有価証券が106百万円減少した一方、現金及び預金が228百万円、商品及び製品が48百万円増加したことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ75百万円減少しております。

これは、支払手形及び買掛金が98百万円、リース債務（流動及び固定）が37百万円、退職給付に係る負債が41百万円減少した一方、未払法人税等が40百万円、流動負債その他が72百万円増加したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ63百万円増加しております。

これは、利益剰余金が43百万円、為替換算調整勘定が58百万円増加したことなどによるものです。また、自己株式の取得を65百万円、譲渡制限付株式報酬として12百万円の自己株式の処分をしております。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は75.1%となり、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント上昇いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ118百万円増加し、4,238百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、587百万円（前年同期は634百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が315百万円、減価償却費が267百万円、投資有価証券評価損益が106百万円となった一方、仕入債務の減少が99百万円あったことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、245百万円の支出（前年同期は252百万円の支出）となりました。これは、定期預金の預入による支出が106百万円、有形固定資産の取得による支出が160百万円あったことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、242百万円の支出（前年同期は592百万円の収入）となりました。これは、自己株式の取得による支出が65百万円、配当金の支払が132百万円あったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,119,497	4,348,441
受取手形及び売掛金	3,897,967	3,895,819
リース投資資産	535,627	510,322
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	1,268,657	1,317,096
仕掛品	897,177	916,584
原材料及び貯蔵品	749,761	674,632
その他	146,621	123,880
貸倒引当金	△7,468	△6,855
流動資産合計	11,907,842	12,079,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,722,755	2,682,990
機械装置及び運搬具(純額)	645,841	612,183
工具、器具及び備品(純額)	116,709	127,463
土地	1,290,615	1,293,368
リース資産(純額)	63,864	29,311
建設仮勘定	232,127	268,749
有形固定資産合計	5,071,914	5,014,066
無形固定資産		
ソフトウェア	132,470	107,052
リース資産	99	79
その他	6,867	6,791
無形固定資産合計	139,436	113,923
投資その他の資産		
投資有価証券	5,343,667	5,237,266
長期貸付金	9,000	8,000
繰延税金資産	22,276	28,056
その他	216,617	195,947
貸倒引当金	△60,980	△39,289
投資その他の資産合計	5,530,581	5,429,980
固定資産合計	10,741,932	10,557,971
資産合計	22,649,775	22,637,892

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	593,865	495,173
短期借入金	1,600,000	1,600,000
リース債務	44,177	13,864
未払法人税等	52,236	92,797
役員賞与引当金	27,395	12,150
その他	917,486	990,020
流動負債合計	3,235,161	3,204,005
固定負債		
リース債務	20,577	13,704
長期未払金	15,204	12,831
繰延税金負債	92,888	95,895
退職給付に係る負債	1,666,590	1,625,355
受入保証金	331,605	334,586
固定負債合計	2,126,867	2,082,373
負債合計	5,362,029	5,286,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,435,425	2,435,425
資本剰余金	1,325,495	1,325,495
利益剰余金	11,966,712	12,010,217
自己株式	△400,582	△454,083
株主資本合計	15,327,050	15,317,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,859,438	1,862,679
為替換算調整勘定	△272,841	△213,912
退職給付に係る調整累計額	41,448	37,834
その他の包括利益累計額合計	1,628,044	1,686,601
非支配株主持分	332,651	347,855
純資産合計	17,287,746	17,351,512
負債純資産合計	22,649,775	22,637,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,954,580	4,927,834
売上原価	3,485,199	3,299,547
売上総利益	1,469,380	1,628,287
販売費及び一般管理費		
役員報酬	98,552	89,986
給料手当及び賞与	587,458	583,368
退職給付費用	36,814	27,995
役員賞与引当金繰入額	13,225	12,150
貸倒引当金繰入額	475	1,551
その他	602,481	606,423
販売費及び一般管理費合計	1,339,007	1,321,475
営業利益	130,372	306,811
営業外収益		
受取利息	283	231
受取配当金	82,058	82,747
雇用調整助成金	40,564	34,830
その他	35,526	28,534
営業外収益合計	158,433	146,344
営業外費用		
支払利息	3,788	4,944
固定資産除売却損	22,742	15,148
貸貸費用	8,474	7,748
その他	19,869	10,219
営業外費用合計	54,875	38,061
経常利益	233,931	415,094
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,505
特別利益合計	—	6,505
特別損失		
投資有価証券評価損	—	106,311
ゴルフ会員権評価損	300	—
特別損失合計	300	106,311
税金等調整前四半期純利益	233,631	315,288
法人税、住民税及び事業税	56,362	84,088
法人税等調整額	16,493	12,612
法人税等合計	72,856	96,701
四半期純利益	160,775	218,587
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△822	△6,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,597	225,414



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	160,775	218,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,296	3,240
為替換算調整勘定	3,508	85,346
退職給付に係る調整額	23,113	△891
その他の包括利益合計	155,918	87,696
四半期包括利益	316,693	306,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,786	283,971
非支配株主に係る四半期包括利益	3,906	22,312

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	233,631	315,288
減価償却費	313,400	267,775
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,470	△23,230
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,256	△15,262
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△40,209	△48,066
受取利息及び受取配当金	△82,341	△82,978
支払利息	3,788	4,944
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,505
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	106,311
売上債権の増減額 (△は増加)	612,236	△14,638
リース投資資産の増減額 (△は増加)	24,843	25,305
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△317,472	59,635
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,868	△99,285
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	8,447	2,980
その他	△64,659	62,448
小計	645,071	554,721
利息及び配当金の受取額	82,697	82,978
利息の支払額	△3,788	△4,944
法人税等の支払額	△89,612	△45,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	634,367	587,459
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△106,809
有形固定資産の取得による支出	△249,421	△160,160
無形固定資産の取得による支出	△2,400	—
投資有価証券の取得による支出	△779	△766
投資有価証券の売却による収入	—	21,697
その他	493	720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252,107	△245,319
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	800,000	—
自己株式の取得による支出	—	△65,586
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△66,292	△37,186
配当金の支払額	△133,848	△132,933
非支配株主への配当金の支払額	△7,267	△6,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	592,591	△242,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△531	19,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	974,320	118,796
現金及び現金同等物の期首残高	3,344,932	4,119,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,319,252	4,238,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内の販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

また、売上から生じる値引等につきましては、過去の発生率から金額を見積り、変動対価として売上高から減額する方法等に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

その他、一部の仕入商品について従来は顧客から受け取る対価の総額を収益としておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る対価から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することといたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、251,733千円減少し、売上原価は237,762千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益につきましてはそれぞれ13,970千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は47,347千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結財務諸表計上額
	フェルト事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,676,906	277,673	4,954,580	—	4,954,580
計	4,676,906	277,673	4,954,580	—	4,954,580
セグメント利益又は損失(△)	344,795	141,331	486,127	△355,754	130,372

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△355,754千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 地域に関する情報

(1) 売上高

	日 本	ア ジ ア	その他の地域	合 計
売 上 高 (千円)	4,029,661	924,454	464	4,954,580
割 合 (%)	81.3	18.7	0.0	100.0

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾・中国・インドネシア・韓国

(2) その他の地域……ドイツ

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結財務諸表計上額
	フェルト事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,632,886	294,948	4,927,834	—	4,927,834
計	4,632,886	294,948	4,927,834	—	4,927,834
セグメント利益又は損失(△)	506,156	137,821	643,977	△337,166	306,811

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△337,166千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 地域に関する情報

## (1) 売上高

	日 本	ア ジ ア	その他の地域	合 計
売 上 高 (千円)	4,104,595	820,725	2,513	4,927,834
割 合 (%)	83.3	16.7	0.0	100.0

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾・中国・インドネシア・韓国

(2) その他の地域……アメリカ

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの売上高の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のフェルト事業の売上高は251,733千円減少し、売上原価は237,762千円減少し、セグメント利益は13,970千円減少しております。詳細は9ページ(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)に記載のとおりであります。